

科目名	発明工学	科目コード A0070
-----	------	----------------

学科名・学年	全専攻2学年 (プログラム4学年)	担当教官	広川 純夫 (機械) 新担当者 (未定) 田口 裕二郎 (電気)		
単位数	2単位・選択	開講期間	前期	時間数	30時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(26), 演習(2) 実験(0), その他(2)
教科書	工業所有権標準テキスト(特許編)、発明協会				
補助教材	適宜、資料を配付する				
参考書					

A 科目の概要	
特許の仕組みや出願の方法などについて講義をする。学生が興味を持って取り組めることに主眼を置き、数学、情報工学、力学、機械工学の各分野から課題を出し、発明の感覚を身につけさせる。また、特許をめぐる社会環境と活用について話をする。	
B 到達目標	
特許制度の概要を理解し、特許をめぐる社会環境を理解する。 技術開発の流れと仕組みを理解し、研究開発を効率化するための知識を身につける。 技術開発の流れと仕組みを、多くの事例によって理解する。	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(C)
D 履修上の注意	
第1週から第5週までは田口が、第6週から第10週までは(新担当者)が、第11週から第15週までは広川がそれぞれ担当する。かなり実践的な内容であるので、よく勉強して卒業後に活用できるようにしてほしい。	
E 評価方法	
特許制度の概要を理解し、特許をめぐる社会環境を理解できたことをレポートによって確認し、評価する。(100/3%) 技術開発の流れと仕組みを理解し、研究開発を効率化するための知識を身につけたことをレポートによって確認し、評価する。(100/3%) 技術開発の流れと仕組みを、多くの事例によって理解したことを小論文試験によって確認し、評価する。(100/3%) 定期試験[0%](前期中間(), 前期末(70), 後期中間(), 後期末(), その他の試験[0%]), レポート[200/3%], その他(小論文試験)[100/3%]の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格点とする。	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	イントロダクション	
2	特許制度、特許要件(産業上の利用性)	
3	特許要件(新規性、進歩性、先願)	
4	新規性喪失の例外規定、特許出願(クレームの多項性)	
5	特許権侵害で訴えられたときの対処法(演習)	
6	未定(新担当者)	
7	未定(新担当者)	
8	未定(新担当者)	
9	未定(新担当者)	
10	未定(新担当者)	
11	6面6色ブロック	
12	最適秤量問題	
13	ハイポイドギヤ	
14	浮遊こま	
15	試験	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		